

河口堰の完成と運用	河川環境の悪化 水質 生態系
-----------	----------------------

区 分		協議の必要性, 要検討事項
利 水	愛知県	<p>①木曾川総合用水に戻す 1) 暫定再転用（調査期間、筏川東岸用水より、筏川取水場までの用水路がある） 2) 水利権転用</p> <p>中部地整への申請</p> <p>河口堰の工業用水を水道に転用したのと同じ手続き（需要予測が必要）</p>
		<p>②尾張地域の取水量, 給水量を検討し, 愛知用水(牧尾・阿木川・味噌川ダム)でまかなう</p> <p>尾張東部・知多地域への安定供給知多半島市町との協議</p>
		<p>知多半島で工業用水と水道用水の水源を交換</p> <p>神谷東浦町長案・水質改善 河口堰上流に塩水遡上（洪水後）、水質事故時などは対応できている</p>
	三重県	<p>中勢水道用水供給事業 (0.732m³/s) *北伊勢工業用水の取水口を併用</p> <p>木曾川総合用水から給水</p> <p>津市北部（久居, 南部は雲出川系統） 三重県の水道需要をみると、長良川系なしでもまかなえる。渇水対策は課題</p>
		<p>北伊勢工業用水道（既設, 2.96m³/s） *旧第一取水口（森下）を撤去, 千本松原（第二取水口）では安定しない *河口堰完成前はほとんど取水していない。完成後, 安定取水</p> <p>木曾川総合用水から給水</p> <p>三重県との協議 この時期は、員弁川（安定取水の評価課題）、木曾川総合で給水</p> <p>北伊勢二期分（桑名市1社）への給水</p> <p>県土整備企業常任委員会予算決算常任委員会県土整備企業分科会 会議録 開催年月日 平成24年3月6日 水量的には43万トンカバーすることは、平常時でしたら可能なんです。ただ、木曾川の場合は、ご存じのように過去にも何回もありましたけども、渇水が頻発してます。</p>
	岐阜県	<p>長良川用水（農業用水, 8.78m³/s）</p> <p>開門調査・塩害を参照</p>
渇水対策	<p>①小雨化傾向にあるとはいえない(蔵治委員) ②水需要の減少, 増加予測の見直し ③木曾川総合用水の運用の見直し 渇水時正常流量・成戸40m³/s 貯留取水制限流量50→40m³/sで整合する 岩屋ダムの渇水補給の緩和・長期化</p> <p>④河口堰を限定的に必要とする場合</p> <p>木曾川下流の環境には影響はない S61（冬期）渇水で措置した実績 H6(夏期) 渇水→農業用水と調整実績 農業用水の取水実績と必要量見直し 河口堰の開鎖, 部分的開鎖, アンダーフローなどにより, どの程度（流量と河川容量からみて10日程度）で淡水化するか, 千本松原取水口で可能, もしくは長良導水を必要とする場合の完全淡水化の条件を調査検証する。 *利根川河口堰, 芦田川河口堰では実験とシミュレーションにより部分開放している実態の調査も必要</p>	
開門調査	<p>①冬期間の実施 塩水遡上の実態解明 低水流量の時期 利水対策を講じる</p> <p>長良川用水 (8.78m³/s) の取水に影響しない 地下水浸透も対策されている</p>	
	<p>②鮎の産卵降下・遡上期の実施 春と秋</p>	
	<p>③中期（5年）的な開門・通年実施 生態系の回復</p>	